

令和5年度

事業報告

社会福祉法人 名東福社会

目 次

名東福祉会の理念	1
事業機構	3
利用者の状況	5
デイケア事業	11
メイトウ・ワークス	
天白ワークス	
はまなす	
レジデンス日進	
ナイトケア事業	25
相談支援事業	33
サービス品質の向上を目指した取り組み	39

名東福祉会の理念

【法人の理念】

利用者の思いを確かなものにする

優しい気持ちになりたい ～ホスピタリティ・マインドを意識して～

- 笑顔で接する
- ありのままを引き受ける
- 気持ちに寄り添う
- 思いを想像する
- 真摯である

【法人のミッション】 「やりたいこと」「やらねばならぬこと」

自己決定を支援すること（意思決定支援）により、
利用者および利用者支援に関わる全ての人々に安心感を与える

- 利用者が 安心 して利用したい
- 職員が 安心 して働きたい
- ボランティアが 安心 して参加したい
- 理事会・評議員会が 安心 して経営参加したい
- 後援会が 安心 して協力したい
- 地域の方々が 安心 して任せたい

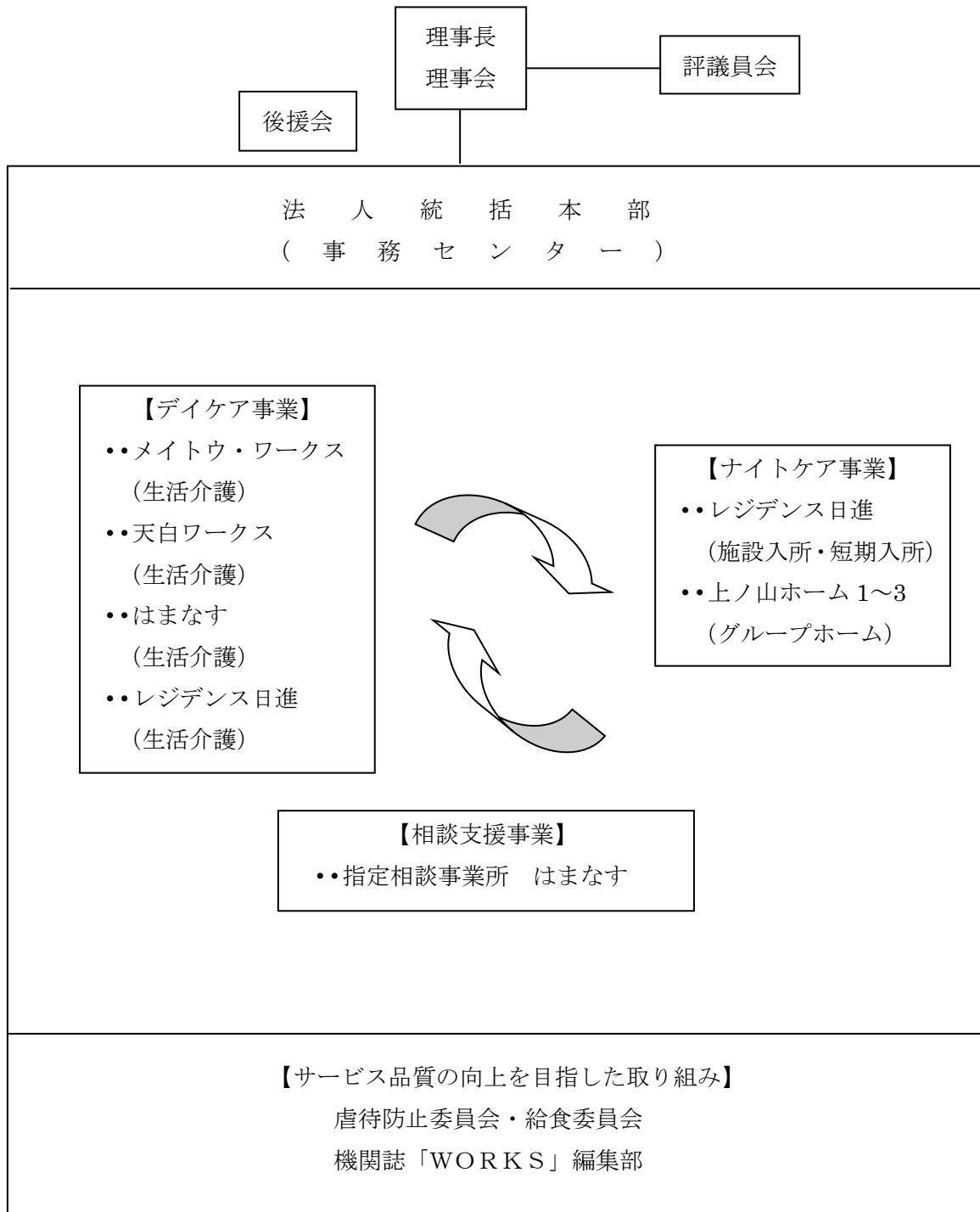
【法人のビジョン】 「ありたい姿」「あらねばならない姿」

“やりがい”を感じられる活動と、“安全”で“快適”な暮らしを提供する。

- 障害の重さを個性として理解する
- 利用者の人たちの意思を尊重する
- ひとりひとりの望みに合わせた生活を実現する
- 人とのかかわりを大切にする
- 生活環境を整備する
- 社会とつながる活動を大切にする
- 働くこと（生産活動）を支援する
- 地域との交流を大切にする
- 利用者や支援者の健康に配慮する
- 支援の質を向上させ、地域に貢献できるよう努力する

事業機構

1. 機構図



2. 職員構成 令和6年4月1日 現在：計85名（内派遣スタッフ2名）

	本部長	事務員	管理者	支援員 相談員		看護師	栄養士	医 師
				男	女			
法人全体	1	3	4(2)	33	40	2	1	1
メイトウ・ワークス			1	2	4	(1)		(1)
天白ワークス			1	3	6	(1)		(1)
はまなす			1	3	5	(1)		(1)
レジデンス日進			(1)	25	24	1	1	(1)
上ノ山ホーム			(1)					
指定相談はまなす			1	(1)	1			

* レジデンス日進の支援員および栄養士、また看護師は、常勤換算前の実人数

* () は兼務

利用者の状況

(令和6年4月1日 現在)

名東福祉会は現在、260名以上の方々から利用契約をいただき、名古屋東部地域を中心に、障害福祉サービスの提供をおこなっています。継続的に、デイケアおよびナイトケア事業を利用されている方が115名（うち、62名が両事業を重複利用）、短期入所や日中一時支援事業等の今年度の利用者が15名（うち、12名が法人デイケア事業も利用）で、グループホーム利用者の中には、就労している方も3名おられます。

障害のある方々の生活をトータルに支援できるよう、事業所間の連携を強化して利用者のニーズに応じていきたいと考えています。

1. 年齢分布

	～19歳		20歳～		25歳～		30歳～		40歳～		50歳～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス					2	1	2	4	4	3	6	1	23
天白ワークス				1	1	1	7	3	2	2	7	5	29
はまなす			1		3		5	3	6	3	1		22
レジデンス日進 (施設入所支援)						1	4	3	7	5	10	10	40
上ノ山ホーム					1		3	1	4	1	10	7	27
法人全体			1	1	7	3	21	14	23	14	34	23	141
			2		10		35		37		57		

2. 居住（出身）地分布

(1) 名古屋市分

	名古屋市												
	名東	天白	緑	千種	昭和	守山	瑞穂	中村	中川	南	港	中	東
メイトウ・ワークス	18					1			1				1
天白ワークス	2	14	4		2				1	1			
はまなす	17	1		1	2		1						
レジデンス日進 (施設入所支援)	8	8	5	1		2	1	1	1	1		1	
上ノ山ホーム	5	8		1	3	1	1			2			
法人全体	50	31	9	3	7	4	3	1	3	4		1	1

(2) 名古屋市外分

	名古屋市外						小計	市内小計	合計
	日進	春日井	尾張旭	瀬戸	江南	他県内			
メイトウ・ワークス	1					1	2	21	23
天白ワークス	4	1					5	24	29
はまなす								22	22
レジデンス日進 (施設入所支援)	6		1	1	1	2	11	29	40
上ノ山ホーム	1	1	1	1		2	6	21	27
法人全体	12	2	2	2	1	5	24	117	141

3. 障害の程度：障害支援区分認定結果

	1		2		3		4		5		6		計（平均）	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	今年度	前年度
メイトウ・ワークス			1		3	1	3	5	3	2	4	1	23 (4.4)	28 (4.4)
天白ワークス					2	1	7	1	3	5	5	5	29 (4.9)	29 (4.9)
はまなす					1		3		8	1	5	4	22 (5.1)	22 (5.0)
レジデンス日進 (施設入所支援)							3	1	8	4	10	14	40 (5.5)	40 (5.5)
上ノ山ホーム			1		6	1	5	1	4	6	2	1	27 (4.2)	27 (4.2)
法人全体			2		12	3	21	8	26	18	26	25	141 (4.9)	146 (4.8)
			2		15		29		44		51			

4. 障害の種別

(1) 主たる障害

	広汎性発達障害		ダウン症		知的障害		重症心身		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	7	4	1	3	7	1			23
天白ワークス	8	5	4	1	5	6			29
はまなす	10	2	4	1	3			2	22
レジデンス日進 (施設入所支援)	14	7	2	2	4	8	1	2	40
上ノ山ホーム	10	4	2		6	5			27
法人全体	49	22	13	7	25	20	1	4	141
	71		20		45		5		

(2) 重複障害

	肢体		視覚		聴覚		内部		精神		延計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス		1			1			2	1		5
天白ワークス	1	2			1						4
はまなす		2	1								3
レジデンス日進 (施設入所支援)	2	3				1			1		7
上ノ山ホーム					1	1			1		3
法人全体	3	8	1		3	2		2	3		22
	11		1		5		2		3		

5. 利用期間

	～1年		1年～		3年～		5年～		10年～		15年～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス							2	1		1	12	7	23
天白ワークス						1	1		4	2	12	9	29
はまなす	1		1		1		2	2	2		10	3	22
レジデンス日進 (施設入所支援)	1		2		1	1		3	3	6	14	9	40
上ノ山ホーム	1		2				1		8	9	6		27
法人全体	3		5		2	2	6	6	17	18	54	28	141
	3		5		4		12		35		82		

6. 月別平均利用者数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス	30	22.2	21.5	21.8	21.7	21.8	21.0
天白ワークス	35	27.4	26.8	27.2	27.3	27.6	27.6
はまなす	25	18.6	17.9	17.5	18.2	17.6	18.3
レジデンス日進 (施設入所支援)	40	38.8	37.6	38.7	38.1	37.4	37.9
上ノ山ホーム	27	26.2	25.1	24.5	24.8	24.3	25.1

10月	11月	12月	1月	2月	3月	今年度平均	前年度平均	
20.2	19.0	19.0	17.9	19.3	19.2	20.4	21.5	メイトウW
27.7	27.4	27.0	23.1	25.4	26.2	26.7	25.7	天白W
18.6	19.7	19.7	19.0	19.7	19.9	18.7	18.5	はまなす
37.2	37.6	36.8	35.5	38.4	38.8	37.7	37.6	レジデンス
25.0	25.3	24.6	23.0	24.1	24.3	24.7	25.6	上ノ山H

7. 短期入所事業利用者数：レジデンス日進・定員7名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
89	87	100	109	95	109	112	94	89	68	92	107	1,151

8. 日中一時支援事業利用者数：レジデンス日進・定員7名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4	7	8	5	8	7	6	6	4	2	5	5	67

* 日中一時契約市町村：名古屋市・日進市

9. 通所施設時間延長サービス利用者数 (16:00~17:00)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス						
天白ワークス					3	1
はまなす	13	12	14	14	13	16
法人全体	13	12	14	14	16	17

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
						0	メイトウ・ワークス
1			2			7	天白ワークス
16	14	13	12	16	14	167	はまなす
17	14	13	14	16	14	174	法人全体

デイケア事業

名東福祉会は、昭和 57 年にメイトウ・ワークスを開所して以来、質の高い日中プログラムの提供を目指してきました。

人の暮らしの質を考える場合、やはり日中の過ごし方の重要性は第一と言えます。施策や制度の動向を踏まえながら、利用者のニーズに基づくサービス提供の姿勢を保ち、多様な選択肢をご提案していきたいと考えています。

メイトウ・ワークス

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、感染対応をしつつ施設の活動を再開した。

外出行事としてグループハイクを再開したが、希望者には施設内での飲食等を取り入れて活動した。

地域での活動も、コミュニティーセンター祭りへの参加、めいとう福祉まつりへの参加を継続しておこなった。また、たかばり北保育園からの招待のあそび広場も再開され、保育園児との交流をおこなった。

施設環境の整備においては、利用者が落ち着いて過ごせる環境の整備をおこない、余暇や作業を安心しておこなえるように改善した。

生活介護事業

(1) 作業種目と年間売上状況 (単位：円)

	陶芸	下請他	計
令和5年度	283,580	940,842	1,224,422
令和4年度	213,965	894,505	1,108,470

(2) 作業内容

● 下請け作業

部品の組み立て、袋詰め、箱詰め、仕分け作業など、作業工程を細分化し、利用者の強みに合わせた作業を提供できるようにしている。

● 陶芸作業

動物はし置き、季節の人形、マグネットなどの小物陶器を製作。土に触れる、型抜き、成形、素焼きの絵付け、焼成後の仕上げなどをおこなった。イベントでの販売、ネットでの販売に加え、愛知牧場での販売もおこなった。

(3) 利用者給与支給状況 (※工賃規程の定めによる)

	工賃総額	一人当たり平均 (賞与含)
生活介護	1,137,200 円	55,745 円/年

(4) レクリエーションプログラム・イベント

● 創作活動

陶芸の創作活動は、上ノ山の陶芸サイトでおこなった。

● 全体行事

- ・お花見
- ・あそび広場 (たかばり北保育園招待)
- ・グループハイク・ランチ
- ・忘年会
- ・初詣

・節分レク

(5) 地域交流

- ・コミュニティーセンターまつり
- ・めいとう福祉まつり
- ・名東区民まつり

(6) 地域貢献

- ・駐車場を南自動車図書館（あおぞら号）の巡回ポイントとして提供した。
- ・大学生の介護体験実習を受け入れた。

(7) 研修

● 外部研修

実施日	開催場所	内容等	参加人数
R5.6.19	オンライン	身体拘束適正化の取り組み	1
R5.7.13	オンライン	身体拘束適正化の取り組み	4
R5.7.15	オンライン	身体拘束適正化の取り組み	1
R5.9.14	オンライン	強度行動障害の基礎知識と支援の組み立て	1

● 事業所内職員研修および会議

実施日	テーマ	内容等	参加人数
R5.4.3	公益通報者保護に関する規定	公益通報者保護について	全職員
R5.4.4	虐待防止研修	虐待防止・身体拘束適正化について	全職員
R5.4.5	ハラスメント防止	ハラスメント防止	全職員
R5.6.21	身体拘束適正化	身体拘束適正化	全職員
R5.7.3	工賃会議	工賃・賞与額検討	全職員
R5.8.22	防災会議	防災	全職員
R5.10.10	工賃改定	工賃改定	全職員
R5.11.10	工賃会議	工賃・賞与額検討	全職員
R6.2.27	防災会議	防災	全職員
R6.3.4	事業計画	事業計画	全職員
R6.3.14	リラクゼーション活動	リラクゼーション活動	全職員

天白ワークス

令和 5 年度は、新型コロナウイルス感染予防もしつつ、レクリエーション活動および行事については、可能なところより徐々に再開していった。特にクリスマス会では、久々に外部の団体の公演、各ターミナルの発表会（家族会見学あり）も再開した。

自主製品（焼き菓子・陶芸）や下請け作業・自立課題・レクリエーション活動用の創作など、それぞれの利用者に合わせながら活動をおこなうことができた。

バザー関係もほぼ再開され、販売をおこなった。

陶芸や絵画の作品作りの意欲につながるように、各種の展覧会にも積極的に参加した。

毎月のレクリエーション活動（創作・ゲーム・散歩など）も定着し、利用者にとっての楽しみとして継続した。

生活介護事業

(1) 作業種目と年間売上状況（単位：円）

	陶 芸	焼き菓子	下 請	雑収益	計
令和 5 年度	263,195	862,744	376,266	220,749	1,722,954
令和 4 年度	117,300	868,441	516,449	183,845	1,686,035

(2) 作業内容

● 陶芸

食器（コップ・皿）、置き物、マグネットなどを製作。販売元の減少により、成形、水拭き、絵付け・釉掛け、仕上げ作業は限られたものになった。

● 焼き菓子

クッキー・パウンドケーキなどの焼き菓子を手作りで製造し販売した。材料の準備、計量、生地づくり、成形、袋詰め、包装の工程を、利用者が役割分担した。12月にオーブンが故障し、3月まで外部への販売を一旦中止することもあったが、家庭用レンジにて作業は継続することができた。

● 下請け

部品の組み立て、製品の箱詰めなど、工程の分かりやすい作業をおこなった。作業工程を細分化・構造化することで、多くの利用者が参加した。

(3) 利用者給与支給状況（※工賃規程の定めによる）

	工賃総額	一人当たり平均（賞与含）
生活介護	1,118,600 円	41,895 円／年

別館・製菓作業の利用者を中心に評価給を上乗せしている。

(4) レクリエーションプログラム・イベント

● 創作活動

1階作業室で週1回創作活動を提供した。
また季節行事に合わせての創作もおこなった。

● 音楽療法

月2回、講師による音楽療法。2グループに分かれて実施した。

- クリスマス会
ゴスペルグループによるクリスマスコンサート。各ターミナルでの発表会を実施。昼食は外注のお弁当とした。
- レクリエーション活動
毎月レクリエーション活動（創作・ゲーム・散歩）を企画し、おこなった。
- コーヒータイム
各作業室で月1回または2回実施。
別館では、その時間を利用して、利用者のミーティングをおこなった。
- ソフトボール大会
春季大会・秋季大会とも参加した。
- フットベースボール大会
施設の事情により、不参加となった。

(5) 地域交流

- ・天白区かおの見えるアート展
web公開や地域の中での展示に参加した。
- ・その他の作品展の展示にも参加した。
- ・美濃焼まつり、あじさいコンサート、せともの祭、天白区福社区民のつどいで販売した。
- ・近隣にお住まいのボランティアに、活動の可能な日・時間で参加していただいている。

(6) 地域貢献

教職課程履修大学生の介護体験実習受入れをおこなった。

(7) 研修

- 外部研修

実施日	開催場所	内容等	参加人数
R5.6/27,28	名古屋市中小企業振興会館	強度行動障害者支援者養成研修 基礎研修	1
R5.8/4	愛知県社会福祉会館	義務化された内容把握とチェックリスト作成を学ぶ	1
R5.11/1,2	名古屋銀行協会	愛知県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者研修（更新研修）	1
R6.2/17	愛知県立芸術大学	アール・ブリュットの時代	1
R6.2/28	緑区役所	構造化とセットでおこなう身体的アプローチ方法	1

- 事業所内職員研修および会議

実施日	テーマ	内容等	参加人数
月に1回	レクリエーション活動企画	毎月レクリエーション企画の確認	6

R5.4/6	4月の目標	セルフチェックとヒヤリハット検証	6
R5.5/2	5月の目標	セルフチェックとヒヤリハット検証	6
R5.5/9	プログラム会議	2階作業室プログラムについて	6
R5.5/16	プログラム会議	1階作業室プログラムについて	6
R5.5/23	プログラム会議	別館プログラムについて	6
R5.5/30	プログラム会議	クッキープログラム会議	6
R5.6/13,7/11 8/18,9/15 10/4,11/14 12/19 R6.2/7,3/12	虐待防止・身体拘束適正化マネジメント会議	セルフチェック・ヒヤリハット検証・毎月の目標・身体拘束への取り組みについて	7
R5.7/1	新規採用職員研修	虐待防止・身体拘束適正化・名東福祉会理念の説明	2
R5.8/22,23	モニタリング会議	全利用者のモニタリングの確認	7
R5.11/9	インフルエンザ予防接種について	インフルエンザ予防接種の動きの確認	7
R6.2/9	身体拘束適正化の取り組み内容の検討	令和5年7月～令和6年1月までの制止等の場面の検証	7
R5.7/28.11/27	工賃会議	賞与時期に伴い評価給のある利用者の評価についての見直し	7
R5.9/1,5 R6.3/15,19	防災会議	防災訓練の実施計画および反省会議	7
R6.3/25	自然災害BCP会議	自然災害BCPシートでの確認	7
R6.2月計14回 3月計14回	個別支援計画会議	全利用者の個別支援計画書を確認および見直し	7
R6.3/29	公益通報保護についての規定	公益通報保護について	7

はまなす

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日より5類感染症になりレクリエーション活動および行事については、状況を確認しながら再開した。行事や活動についても利用者と家族会、ボランティア、職員で盛大におこなった。

午前は生産活動を、午後はレクリエーション活動を主体とした活動をおこなった。生産活動では、働くことで、社会とのつながりを大切に、社会貢献を目指せるよう支援した。作業を工程ごとに分けておこない、難しい作業も治具を使用したり、タイマーを使用したり、分かりやすく内容を提示し取り組むことができた。

レクリエーション活動では、芸術、音楽、スポーツを通して利用者が自己表現できるものを見つけていき、生き生きと生活ができるよう支援した。活動内容を曜日によって決めているため、見通しを持って取り組むことができた。

毎週木曜日午後の創作活動では、はまなすのロビーに飾る大きな「貼り絵」を制作した。テーマは、お雛様やこいのぼり、七夕、ハロウィン、クリスマスなどのイベントや時季に合ったものを制作した。素晴らしい作品ができるようになり、やりがいを持って取り組むことができた。

毎週金曜日午後の身体活動では、無理なく、楽しく身体を動かすことで、健康にも配慮した活動となるよう、バランスボールやマットを使用しての軽運動や、ビーチボールや大きな風船を使用して、バレーボール、ウォーキングをおこなった。

令和5年度は音楽療法士による音楽活動や、家族会有志による寄贈の牛肉や鶏肉を使用したスペシャルメニュー給食、はまなす内グループハイクラunchをおこなった。

生活介護事業

(1) 作業種目と年間売上状況 (単位：円)

	下 請	雑収益	計
令和5年度	105,900	0	105,900
令和4年度	124,600	0	124,600

(2) 作業内容

ナット・ワッシャーの袋詰め、ボルトのナット止めなど。

(3) 利用者給与支給状況 (※工賃規程の定めによる)

	工賃総額	一人当たり平均 (賞与含)
生活介護	122,000 円	6,524 円/年

(4) レクリエーションプログラム・イベント

令和5年度のレクリエーションプログラム・イベントについては、新型コロナウイルス感染症が5類感染症になり、状況を確認しながら再開した。

● 散歩

公用車を使用して近隣の公園や公共施設へ出かけ、散歩、散策をおこなった。気分転換、健康増進、一般の方々との交流などを目的に、午前、午後とメンバーを入れ替えて実施した。

● 通常のレクリエーション

毎日、午後の時間帯に月曜日陶芸、火曜日足湯、水曜日カラオケ、第4水曜日音楽療法士による音楽活動、木曜日創作、金曜日身体活動をおこなった。利用者の参加定着ができた。

● ソフトボール大会

春の大会 4月19日(水)、秋の大会 10月6日(金)に参加した。

● フットベースボール紅白戦

11月28日(火)に名東福祉会フットベースボールメンバーにて紅白戦をおこなった。

● 夏まつり

8月10日(木)午後、音楽を楽しみながら家族会有志とサマーボランティアにより

かき氷、たこ焼きを提供した。

- クリスマス会
12月22日（金）午後、音楽活動にクリスマスイベントを加えて楽しんだ。
- ティータイム
毎月、第三金曜日の午後2時よりティータイムをおこなった。
- 令和6年3月8日（金）、寄贈の牛肉や鶏肉を使用した家族会有志とボランティア手作りのスペシャルメニュー給食を楽しんだ。

（5）地域貢献

年2回の高針台一丁目町内会一斉清掃（5月、12月）に参加、8月極楽学区盆踊り大会協賛金協力した。10月秋の祭礼「たかほくまつり」へバザー品を提供協力した。

区内中学生の福祉体験、職場体験などの受け入れや、名古屋市新規採用職員研修は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、高校生の夏休みサマーボランティアの受け入れや大学からの教員免許介護体験学生実習、社会福祉士相談援助実習をおこなうことができた。

（6）研修

- 外部研修

実施日	開催場所	内容等	参加人数
6月27日 6月28日	名古屋市中小企業振興会館	名古屋市強度行動障害者支援者養成研修基礎	1名
8月4日	愛知県社会福祉会館	令和5年度虐待防止、身体拘束適正化研修	1名
8月28日 8月29日	名古屋市中小企業振興会館	名古屋市強度行動障害者支援者養成研修実践	1名

- 事業所内職員研修および会議

実施日	テーマ	内容等	参加人数
4月5日 9月27日	ソフトボール大会について	ソフトボール大会の流れについて	8名
6月7日	健康診断について	健康診断の流れについて	8名
7月26日	夏祭りについて	夏祭りの流れについて	8名
8月21日 3月22日	防災会議	大規模地震に備え防災意識の向上と防災体制の強化を図る	8名
10月17日	フットベースボール大会について	フットベースボール大会の流れについて	8名
4月19日 6月5日 8月30日 11月28日 1月24日	虐待防止マネジメント会議	虐待とは何かを伝え職員間で確認し合う チェックリストを集計して確認する 身体拘束適正化の取り組みについて検討する	8名

毎週水曜日	個別支援会議	モニタリングと個別支援計画の見直しをする会議	8名
随時	法人内研修報告	リーダー研修 環境コーディネーター研修 虐待防止マネジメント会議	8名

レジデンス日進

令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたが、感染対応をすべて解除することなく、マスクの着用、体温測定、活動場所の消毒、換気などに努めた。また、日進市、ふくしまファミリー内科福嶋俊郎医師の協力を得て利用者は2回のワクチン接種を実施した。

生産活動については、検品の負担を軽減するため、請け負う仕事量を調整することで、収入は減少したが、余裕を持って下請け作業に取り組むことができた。

下請け作業の提供が難しい利用者に関しては、ネット販売による書籍を発送する業務を株式会社アドムから委託を受けており、利用者が郵便局に持っていく等の取り組みを作業として実施した。

行動障害のある自閉症の利用者への「構造化」対応の手法として、落ち着いて（安心して）、生き生きと、楽しく、人と関わることのできる環境にすること（生活の質の向上）を目的として取り入れた「自立課題」は、導入を計画し、実践を始めて5年が経過した。午前は「自立課題」午後は「散歩」とバランスの取れた日課を安定して提供することができたが、課題への取り組みの質・量に関しての個々の違い、トークンの効果については改善の必要性が明らかとなった。

「自立課題」は、自閉症に限定されることなく、知的に障害のある人にも有効な手法であることから、自閉症以外の利用者にも「主体的な取り組み」をテーマに提供を継続した。『主体的』を前面に押し出してきたが、職員主導になってしまった点もあり、改善が必要である。

作業による売上については、毎日生産活動に参加している利用者には、その取り組みを数値で評価し、毎月工賃として支給した。また、自立課題や創作活動、レクリエーションが中心の利用者には、賞与という名称で年2回支給した。

生活介護事業

(1) 作業種目と年間売上状況（単位：円）

	下請他	書籍発送	雑収益	計
令和5年度	902,622	150,900	245,428	1,298,950
令和4年度	1,275,589	188,100	302,255	1,765,944

(2) 作業内容

- ・施設近隣の会社からの下請け作業（自動車部品の組立て、ガス器具の部品組立、

- 水洗トイレの部品組立などを主な作業（生産活動）として提供した。
- ・書籍を販売、発送した。

(3) 利用者給与支給状況（※工賃規程の定めによる）

	工賃総額	一人当たり平均（賞与含）
主たる取り組み（生産活動）	1,082,700 円	98,427 円／年
主たる取り組み（自立課題）	480,000 円	20,000 円／年

(4) レクリエーションプログラム・イベント

新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、令和2年2月以前の行事内容に近づいた形で実施した。

● 季節行事

➤ お花見

レジデンス日進前の桜を鑑賞した。（近隣の喫茶店「あぜりあ」にお弁当を注文）

➤ はるまつり

終日開催とし、バザーを中心に利用者が買い物の疑似体験をした。家族会の参加は中止とした。

➤ 流しそうめん

七夕を意識して、敷地内の竹を切り、そうめんを流して味わった。

➤ なつまつり

花火は、ナイトケア事業の余暇支援としての位置付け。午後からスイカ割りとかき氷、夕食後は花火を楽しんだ。学童保育所からの希望により、感染予防をおこない参加してもらった。

➤ バスハイク

新型コロナウイルス感染症が落ち着いた9月、10月に実施した。

➤ あきまつり

終日開催。家族会も参加し、昼食にバーベキューをしてレジデンス日進開設20周年を祝った。

➤ クリスマス会

日進市の登録ボランティアにライターの演奏を依頼した。家族会の参加は見合わせる形で実施した。

➤ 初詣

近隣の神社に出掛けた。

➤ 節分

職員が鬼となって豆まきをおこなった。

● スポーツイベント

➤ ソフトボール大会

春季大会、秋季大会とも参加。

➤ ゴルフ観戦

4年ぶりに参加した。

● その他

➤ 和太鼓

毎月、第2金曜日に言語聴覚士でもあり、障害児・者に和太鼓の指導をされている先生に来ていただき、太鼓の音、響きを体感することができた。新型コロナウイルス感染症予防のためのパーテーション等の活用は終了した。

➤ ダンスレッスン

毎月、第3水曜日にチアダンス、ハグダンス等のインストラクターで地元大学、中学校、保育園等で指導されている方に来ていただき、利用者に合った、人とのつながりを大切にしながら緩やかなダンスをおこなった。利用者間の距離を空ける等コロナウイルス対応に努めた。

(5) 地域交流

コロナウイルス感染対応のため、自粛を継続した。

(6) 地域貢献

コロナウイルス感染対応のため、自粛を継続した。

(7) 研修

● 外部研修

実施日	開催場所	内容等	参加人数
5/21、 22	社会福祉法人よつ葉の会 鳥見作業所	強度行動障害支援者養成研修講座 基礎研修	1
6/13	愛知県自治センター	権利擁護・虐待防止研修	1
6/10、 18	メディアス体育館ちた	強度行動障害支援者養成研修講座 基礎研修	1
8/20、 21	社会福祉法人よつ葉の会 鳥見作業所	強度行動障害支援者養成研修講座 実践研修	1
9/26	オンライン	知的障害者の入所施設向けの療養食について	1
10/6	日進市中央福祉センター	成年後見制度を知る	2
10/18	豊田市民文化会館	交通安全の価値を考える	1
10/21、 22	メディアス体育館ちた	強度行動障害支援者養成研修講座 基礎研修	1
11/1、2	名古屋銀行協会	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修	2
11/14	名古屋市西生涯学習センター	ソーシャルワーク研修	1
11/18、 26	知多市市民活動センター会議室	強度行動障害支援者養成研修講座 実践研修	1

11/28	名古屋市西生涯学習センター	ソーシャルワーク研修 ～本人中心の支援計画づくり～	1
12/24	日進市民会館	これって虐待？ ～虐待を本気で0にするために～	9
1/21	名古屋市鯉城ホール	名古屋市強度行動障害支援事業講習会	3
2/17	愛知県立芸術大学	アート講座	1
2/21	尾三消防本部	自力避難困難者入所施設に従事する職員に対する防火研修会	1

● 事業所内職員研修および会議

実施日	テーマ	内容等	参加人数
4/15	職員全体 ミーティング	令和5年度事業計画、虐待防止・身体拘束等の適正化、ハラスメント、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	26
6/17	職員全体 ミーティング	避難訓練、個人情報管理、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	27
7/15	職員全体 ミーティング	ご家族からの相談、業務実行チェック、虐待防止委員会、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	27
8/20	職員全体 ミーティング	救命救急講習	34
9/16	職員全体 ミーティング	事故再発防止、不適切と思われる対応、障害者虐待防止チェックリスト、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	23
10/21	職員全体 ミーティング	行政からの聞き取り、ユニット業務内容、バスハイク、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	28
11/18	職員全体 ミーティング	治療計画、個別支援計画、感染予防、マルトリートメント、ケース検討	27
12/16	職員全体 ミーティング	上ノ山ホーム実地指導、敷地内禁煙、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	29
1/20	職員全体 ミーティング	新型コロナウイルス感染症対応、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	24
2/17	職員全体 ミーティング	次年度イベント担当、職員体制、支援スキルの問題、マルトリートメント、ケース検討	29
3/16	職員全体 ミーティング	骨折の利用者、再発防止策、新規採用職員への対応、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	28

実施日	テーマ	内容等	参加人数
4/12	日中担当者会議	各ターミナルの活動状況報告、ユニット担当者会議報告、自立課題について、ケース検討	5
5/16	日中担当者会議	各ターミナルの活動状況報告、ケース検討、避難訓練について	6
6/12	日中担当者会議	各ターミナルの活動状況報告、ユニット担当者会議報告、ケース検討	4
7/26	日中担当者会議	各ターミナルの活動状況報告、トークンについて、ケース検討	4
8/23	日中担当者会議	各ターミナルの活動状況報告、ケース検討、ドッグセラピーについて	5
9/20	日中担当者会議	各ターミナルの活動状況報告、ケース検討、自立課題について	5
10/20	日中担当者会議	各ターミナルの活動状況報告、ケース検討、自立課題について、車イス使用について	5
11/10	日中担当者会議	各ターミナルの活動状況報告、ケース検討、昼食時の移動について	5
12/6	日中担当者会議	各ターミナルの活動状況報告、ケース検討、散歩メンバー変更について	5

* 参 考

R5年度	メイトウ・ワークス	天 白 ワークス	はまなす	レジデンス 日 進	法人全体
陶 芸	283,580	263,195			546,775
焼き菓子		862,744			862,744
下請	940,842	376,266	105,900	902,622	2,325,630
書籍発送				150,900	150,900
雑収益		220,749		245,428	466,177
計	1,224,422	1,722,954	105,900	1,298,950	4,352,226

R 4 年度	1,108,470	1,686,035	124,600	1,765,944	4,685,049
R 3 年度	1,205,082	1,561,446	108,530	2,375,873	5,250,931
R 2 年度	1,476,008	2,286,670	112,354	2,960,823	6,835,855

ナイトケア事業

名東福社会では、レジデンス日進を生活支援の拠点として、グループホームを展開しています。レジデンス日進の4つのユニットに加えて、上ノ山ホームもユニットとして考え、ナイトケアのノウハウを活かすことで、安定したサービス提供を図ります。

今後、ナイトケア事業への期待は高まるばかりですので、健康で快適な生活の場を提供できる支援体制を創造していきます。

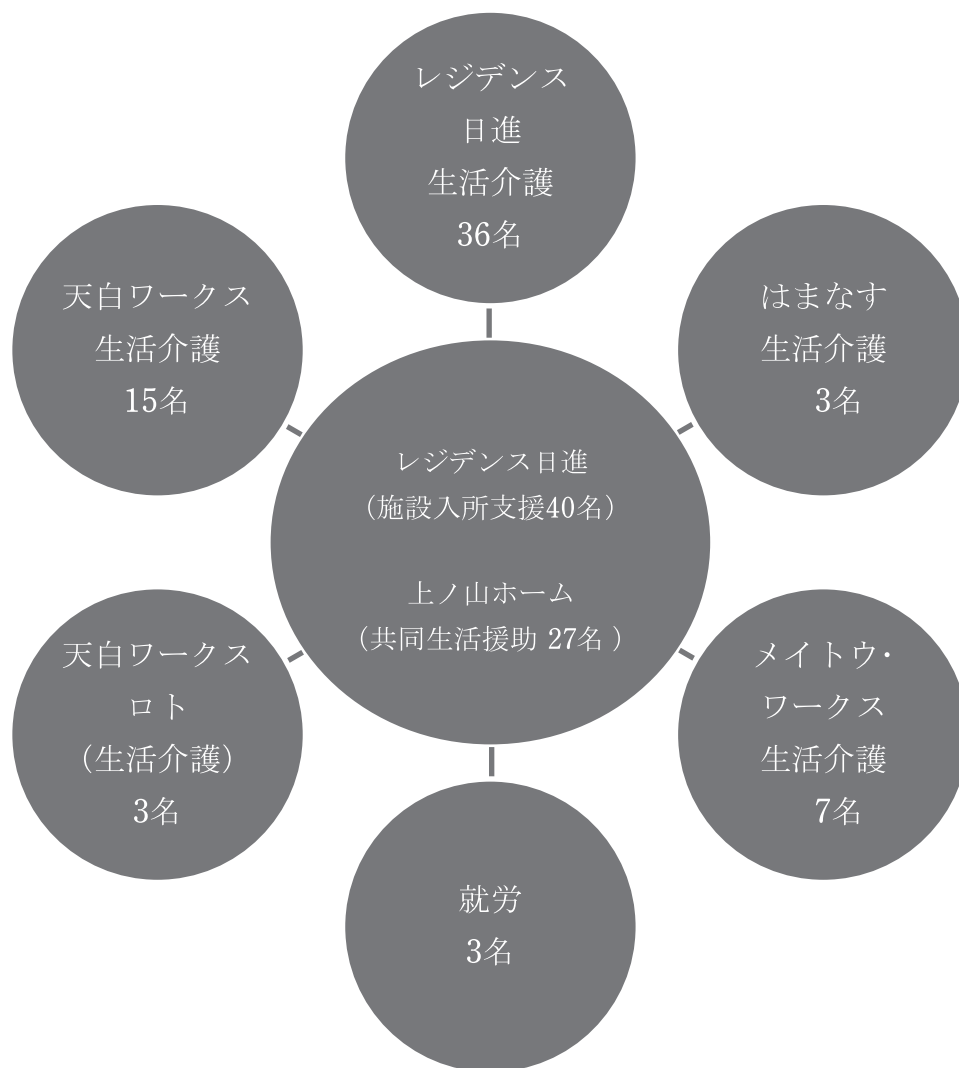
1. 新型コロナウイルス感染対応

令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたが、感染対応をすべて解除することなく、マスクの着用、体温測定、活動場所の消毒、換気などに努めた。また、日進市、ふくしまファミリー内科福島俊郎医師の協力を得て利用者は2回のワクチン接種をおこなった。

感染者発生時には、防護服、フェイスシールド、防護キャップ等を着用し、感染者および濃厚接触者の隔離等、感染症対応マニュアルに従った対応を実施した。

2. 生活の場と日中活動の場の連携

施設入所支援であっても、日中に他事業所を利用できるように支援することがレジデンス日進の大きな特色である。利用者の方々に安心して生活していただくためには、日中活動事業所との連携が不可欠であることから、利用者個々の様子・健康面等での伝達事項を積極的に共有するよう努めた。



(※上図は令和5年度)

3. ナイトケア事業間の連携

施設入所支援および共同生活援助を「ナイトケア事業」として位置づけ、職員配置、勤務割り等を一体化して管理体制を維持することができた。また、法人の通所事業所の職員による夕方からの、生活支援（夕食・入浴など）を中心としたバックアップについても、情報共有、研修の機会として継続的に実施することができた。

4. ユニット単位の支援

レジデンス日進（施設入所支援）は1ユニット10名程度のユニット単位での生活支援を基盤とし、上ノ山ホームも同様に1住居（ユニット）9名での生活支援を基盤として、完全個室で個別対応による利用者の生活の安定を図った。

5. 短期入所利用者受け入れの充実

地域を中心とした短期入所利用を1～2泊で積極的に受け入れている。特に行動障害のある自閉症者の利用希望が高く、ユニット単位による支援の特性を活かし、障害特性に合わせて個別に対応を調整する形で受け入れをおこなった。

6. 健康管理

ナイトケア事業全体の健康管理については、レジデンス日進看護師が中心となり、現場支援員と連携を図りながら取り組むことができた。

また、今年度よりグループホームにおいては健康管理を充実させるため、訪問看護を導入した。

年2回の定期健康診断、個々の状態により毎日・毎週の体重・血圧測定、訪問歯科検診、新型コロナワクチン接種（2回）、インフルエンザ予防接種を実施した。

感染症対策（発症時の対応マニュアル整備）、通院支援として体調不良の利用者の早めの医療機関への受診、精神科、歯科、眼科、皮膚科への受診も継続支援できた。往診（月2回）を含め嘱託医を中心とした地域医療機関との連携に留意した。

利用者個別の「体調シート」を作成し、利用者の毎日の体調および傷や怪我の位置（入浴時にチェック）、状況を記入し、状態の把握・共有を図り、適切な支援・介護に努めた。

また、夜間帯には、緊急対応マニュアル（てんかん発作時の個別対応シート含む）を各ユニットに設置し、緊急時には6名の職員が連携することで、より早く対応できるよう努めた。

7. 防災対策

専門業者による消防設備点検、災害時用の備蓄（7日分）、緊急マニュアルの整備、夜間想定を中心とした避難誘導訓練をおこなった。

8. 金銭等の管理

利用者の財産管理については、「施設利用者の年金等取扱要領」に従い、適正・確実に旨としておこなった。また、年金および現金管理をしている利用者に対しては、行政等の手続きの代行、年金管理を家族・後見人等が担っている利用者に対しては、預かった現金の管理

をおこなった。

9. 季節行事

新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、令和2年2月以前の行事内容に近づいた形で実施した。

10. 研修

● 外部研修

実施日	開催場所	内容等	参加人数
5/21、 22	社会福祉法人よつ葉の会 鳥見作業所	強度行動障害支援者養成研修講座 基礎研修	1
6/13	愛知県自治センター	権利擁護・虐待防止研修	1
6/10、 18	メディアス体育館ちた	強度行動障害支援者養成研修講座 基礎研修	1
8/20、 21	社会福祉法人よつ葉の会 鳥見作業所	強度行動障害支援者養成研修講座 実践研修	1
9/26	オンライン	知的障害者の入所施設向けの療養食について	1
10/6	日進市中央福祉センター	成年後見制度を知る	2
10/18	豊田市民文化会館	交通安全の価値を考える	1
10/21、 22	メディアス体育館ちた	強度行動障害支援者養成研修講座 基礎研修	1
11/1、2	名古屋銀行協会	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修	2
11/14	名古屋市西生涯学習センター	ソーシャルワーク研修	1
11/18、 26	知多市市民活動センター会議室	強度行動障害支援者養成研修講座 実践研修	1
11/28	名古屋市西生涯学習センター	ソーシャルワーク研修 ～本人中心の支援計画づくり～	1
12/24	日進市民会館	これって虐待？ ～虐待を本気で0にするために～	9
1/21	名古屋市鯉城ホール	名古屋市強度行動障害支援事業講習会	3
2/17	愛知県立芸術大学	アート講座	1
2/21	尾三消防本部	自力避難困難者入所施設に従事する職員に対する防火研修会	1

● 事業所内職員研修および会議

実施日	テーマ	内容等	参加人数
-----	-----	-----	------

4/15	職員全体 ミーティング	令和5年度事業計画、虐待防止・身体拘束等の適正化、ハラスメント、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	26
6/17	職員全体 ミーティング	避難訓練、個人情報管理、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	27
7/15	職員全体 ミーティング	ご家族からの相談、業務実行チェック、虐待防止委員会、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	27
8/20	職員全体 ミーティング	救命救急講習	34
9/16	職員全体 ミーティング	事故再発防止、不適切と思われる対応、障害者虐待防止チェックリスト、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	23
10/21	職員全体 ミーティング	行政からの聞き取り、ユニット業務内容、バスハイク、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	28
11/18	職員全体 ミーティング	治療計画、個別支援計画、感染予防、マルトリートメント、ケース検討	27
12/16	職員全体 ミーティング	上ノ山ホーム実地指導、敷地内禁煙、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	29
1/20	職員全体 ミーティング	新型コロナウイルス感染症対応、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	24
2/17	職員全体 ミーティング	次年度イベント担当、職員体制、支援スキルの問題、マルトリートメント、ケース検討	29
3/16	職員全体 ミーティング	骨折の利用者、再発防止策、新規採用職員への対応、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	28

実施日	テーマ	内容等	参加人数
5/18	虐待防止マネジメント会議	虐待防止・身体拘束等の適正化について事例検討	8
9/7	虐待防止マネジメント会議	再発防止に向けて	8
10/5	虐待防止マネジメント会議	転倒による骨折防止について	8
2/1	虐待防止マネジメント会議	激しい自傷行為のある利用者への対応について	8

実施日	テーマ	内容等	参加人数
4/6	ユニット担当者会議	個別支援計画の説明と同意、虐待防止・身体拘束等の適正化、訪問看護サービス、日中活動内容の変更、生活環境、ケース検討	8

4/21	ユニット担当者会議	個別支援計画の説明と同意、退職者の再雇用、避難マニュアル、ケース検討	8
5/18	ユニット担当者会議	個別支援計画、制止、スマホ使用、強度行動障害、作業棟の問題点、生活環境、ケース検討	8
6/1	ユニット担当者会議	ご家族の要望、法定外労働時間の削減、利用者のコメント、生活環境、ケース検討	8
6/15	ユニット担当者会議	入院中の利用者の状況、個人情報管理、マルチリートメント、服薬について、面談報告、生活環境、ケース検討	8
7/6	ユニット担当者会議	入院中の利用者の状況、ご家族からの相談、第3回虐待防止委員会、面談報告、個別支援計画、健康診断の結果、ケース検討	8
7/20	ユニット担当者会議	虐待防止委員会について、短期入所利用について、おやつについて、ケース検討	7
8/3	ユニット担当者会議	作業棟の課題提供について、不適切と思われる対応について、ケース検討	8
8/18	ユニット担当者会議	事故報告、夜間責任者・副責任者の役割、口腔ケアの必要性、ホーム配置変更、面談報告ケース会議報告、生活環境、ケース検討	8
9/7	ユニット担当者会議	Dユニットの事故、緊急アンケート（虐待防止チェックリスト）、居室の変更、バスハイク、ケース検討	8
9/21	ユニット担当者会議	職員がCユニットを苦手とするのは？作業棟・デイサービス2F、居室変更、ケース検討	8
10/5	ユニット担当者会議	個別支援計画、避難経路、ケース検討	8
10/19	ユニット担当者会議	バスハイク反省、言葉の問題、女性ユニット業務内容、行動障害と医療	7
11/2	ユニット担当者会議	超過勤務時間、ホームの夜間業務、体調シートへの記載、自傷行為、ケース検討	7
11/16	ユニット担当者会議	利用者を見る、超過勤務、ホーム食費徴収額、避難訓練反省、生活環境、ケース検討	7
12/7	ユニット担当者会議	上ノ山ホーム実地指導、シフトの偏り、敷地内禁煙、睡眠、面談報告、ケース検討	8
12/21	ユニット担当者会議	入院中の利用者の状況、検温等の個別対応の理由、新年会企画案、生活環境、ケース検討	7
1/10	ユニット担当者会議	洗濯機の移設、4法人合同研修会、行動障害支援、自閉症の感覚刺激を楽しむ行動、感染症対応、ケース検討	7
1/18	ユニット担当者会議	新型コロナウイルス感染症対応、感性の麻痺・意識の低下、ケース検討	2
2/1	ユニット担当者会議	激しい自傷行為のある利用者への対応、支援スキルの問題、歯周病改善、精神障害のある利用者、ケース検討	7

2/15	ユニット担当者会議	支援会議報告、個別支援計画、業務負担の軽減、日中会議報告、業務の整備、ケース検討	8
3/7	ユニット担当者会議	次年度計画、新規採用職員対応、事故報告、体重の増減、避難訓練、ケース検討	7
3/21	ユニット担当者会議	アンケートの意味、通院支援の変更、面談報告、手順書、避難訓練、記録用紙整備、ケース検討	7

相談支援事業

名東福祉会は発足当初から、療育支援事業等を通じて、地域にお住まいの障害のある方々の生活を支える取り組みにも力を入れてきました。当事者の意向に沿った地域生活支援の重要性は増すばかりですし、そのためのネットワークの構築は必須です。

平成 17 年に名東区で地域生活支援センターを開設、地域にお住まいの方々の相談支援を開始し、平成 26 年には名古屋市より名東区障害者基幹相談支援センターの事業を受託、総合的な相談や地域づくりといった、地域生活支援の拠点機能を担ってきました。

現在、基幹相談支援センターの委託業務は終了しましたが、平成 26 年よりはまなすに併設した指定特定相談支援事業所にて計画相談支援の提供をおこなっており、引き続き地域に根差した相談支援に取り組んでいます。

指定相談事業所 はまなす

令和5年度は、新規での契約は10件となった。

新規契約者の内訳としては、精神障害者5名・障害児（発達障害含）2名、知的障害者1名、身体障害者2名となっており、引き続き精神障害者からの依頼が多くなっている。

契約者数は、前年度の154名から（契約解除13名）3名減り、令和6年3月31日現在で151名となっている。契約解除理由としては、介護保険への移行（2）、他区への転居（2）、更新なし（4）、他相談事業所への移行（5）となっている。

相談員一人当たり担当件数の平均化に関しては、概ね終了している。

月1回の自立支援連絡協議会（事務局会議）に積極的に参加することによって、他の相談支援事業所と交流したり、地域における諸課題等を共有したりすることができた。

引き続き週1回の事業所内ミーティングを実施し、困難ケースにおける具体的な処遇方針や改善方策、地域における社会資源の状況、保健・医療・福祉に関する諸制度について、また苦情があった場合はその内容・改善方針について等様々な項目について話し合い、実際の支援に役立てることができた。

1. 契約者の内訳

【居 所】

	名古屋市	日進市	尾張旭市	瀬戸市	北名古屋市	計
人数	132	10	2	2	1	
	長久手市	江南市	一宮市	愛西市		
人数	1	1	1	1		151

(名古屋市の内訳)

	名東区	昭和区	天白区	守山区	緑区	千種区	瑞穂区	中村区	計
人数	93	4	9	6	8	4	2	1	
	北区	西区	東区	南区	港区	中区	熱田区	中川区	
人数	0	0	0	2	1	1	0	1	132

【住まい別】

	施設入所	グループホーム	一人暮らし	計
人数	36	29	8	
	家族と同居	有料老人ホーム	療養介護	
人数	77	0	1	151

【利用サービス（重複利用あり）】

	施設入所	療養介護	共同生活援助（GH）	短期入所
人数	36	1	29	37

	生活介護	就労継続 A 型	就労継続 B 型	就労移行
人数	85	4	22	1
	就労定着	居宅介護	重度訪問介護	同行援護
人数	1	23	2	2
	移動支援	地域活動支援	放課後等デイサービス	行動援護
人数	54	10	12	2

【年齢・性別】

	児（～17歳）	者（18歳～）	計
男性	7	78	85
女性	5	61	66
計	12	139	151

【障害種別（重複障害あり）】

	身体	知的	精神	発達障害	難病
人数	15	107	28	9	1

2. 研修内容

- ① 自立支援連絡協議会（事務局会議） *参加者数は20名程

【事務局：区福祉課、基幹センター 指定相談事業所】

・内容：情報交換会、勉強会（研修会）、事例検討、年度総括（次年度計画）等

実施日	開催場所	主な内容
4/21	区役所	・事務局会議のあり方について
5/19	区役所	・情報交換会
6/16	区役所	・研修会（名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター）
7/21	区役所	・研修会（相談員向け虐待防止研修）
8/18	区役所	・研修会（強度行動障害の理解と支援）
9/15	区役所	・研修会（クレームを未然に防ぐための接遇マナー）
10/20	区役所	・研修会（重層的支援体制事業）
11/17	区役所	・事例検討会
12月		開催なし
1/19	区役所	・情報交換会
2/16	区役所	・研修会（法務能力支援事業）
3/15	区役所	・R5年度総括、R6年度計画

- ② 事業所内ミーティング（強化型体制Ⅲ） *参加者数は相談員2名

実施日	テーマ	主な内容
4/7	介護保険への移行	・R5.7月の誕生日に満65歳になる方に関して、最終のモニタリングで、ケアマネジャーへの引き継ぎをおこなう
4/13	始業前のTEL対応について	・8:30前にTEL連絡(相談)があった場合については、8:30以降のTEL連絡を促すよう確認する
4/21	情報共有	・第1回事務局会議(4月)についての情報共有 →協議会報告、運営計画、計画相談の状況等について
4/28	困難ケースへの対応	・父・母・本人3人暮らしの家庭への支援について →病識はないが妄想が酷い母と引き籠りの本人への対応
5/12	定期ミーティングについて	・定期ミーティングのあり方について →時間・頻度・内容等について確認する
5/19	振り返り	・第2回事務局会議(5月)の振り返り →協議会報告、加算、実地指導等について
5/24	新規相談者について	・新規相談者(児2名)の初回アセスメントの振り返り →中1と小1の兄妹でASD、ADHDありのケース
6/2		職員休暇のため中止
6/9	ご近所トラブル	・ご近所との間で騒音トラブルが起これり、本人・母・相談員・自治会とで面談をおこなう
6/16	情報共有	・第3回事務局会議(6月)についての情報共有 →「名古屋市仕事・暮らし自立サポートC」について
6/23	サービス利用なしの方への対応	・サービス利用なしの方への対応に関しては、区によって見解が多少異なっているため、自支協にて再度確認
6/30	福祉に関する制度について	・「就労移行」より一般就労後6ヶ月間の定着支援時の取り扱い、補助金対象の支援事業のため必須とのこと
7/7		業務多忙のため中止
7/13	新規相談者の情報共有	1) 20歳、男性、いじめが原因で1年程自宅に引き籠る 2) 大腿骨頸部骨折にて入院中(退院後のサービス調整)
7/20	サービス調整会議	・退院後の福祉サービスを調整(課題・検討事項) →補装具、ゴミ出し、ヘルパー・訪看利用の頻度等
7/28	困難ケース	・退院後は単身生活を送っているが、食事が摂れない、外出ができない等の症状が続いているケース
8/4	福祉に関する制度	・「就労移行」支援より一般就労すると、就職半年後に「就労定着」支援を利用することができる
8/10		業務多忙のため中止
8/18	ケース移譲	・他相談事業所よりケース移譲の依頼あり →移譲の経緯、本人の意向、トラブル等について確認
8/25	支援会議の振り返り	・本人、母、放課後等デイ、相談員にて開催 →キーパーソン(放デイ職員)を中心に情報共有していく
9/1	所長会報告	・赤字解消に向けての短期・中期目標について、安定経営に向けての長期目標について、各事業所報告について
9/8	GHでのトラブル	・あるGH内で利用者同士のトラブルが発生し、訴訟まで発展したが、一段落し一人が転居となる様子
9/15	ケース移譲	・他相談事業所よりケース移譲の依頼あり(8/18と同) →現状把握と今後の支援、前相談との支援の解離について

9/29	支援会議の振り返り	・法務少年 C、放課後等デイが参加し、母の負担軽減・レスパイトの面に寄り添っていくことを確認する
10/6	生活保護と受診	・生活保護受給の方の病院への受診について、費用負担なくいつでも医療に掛かれることは良いことなのか?
10/12	親亡き後の生活	・高齢の両親、姉との4人暮らしのため、将来の生活について GH 入所や施設入所へ向けて少しずつ進めていく
10/20	コロナ罹患	・本人より mail にてコロナに罹患したとの連絡あり →同居の母と連絡を取り、母は未罹患だと確認する
10/27	就労継続 A 型利用の手続き	・本人の意向を確認後、申請、ハローワークでの紹介状を持って面談、就労継続 B 型支給の場合は計画変更が必要
11/2	利用者間のトラブル	・就労継続 B 型でのモニタリングにて →利用者間で「いじめ」らしき言動がみられるとの話あり
11/10	金銭面の支援	・臨時金の要求頻度が高く、権利擁護 C の援助員が振り回されている状況のため、改めて改善策を提案していく
11/17		業務多忙のため中止
11/24	GH 利用者同士のトラブル	・GH 利用者間で騒音トラブルがあり、本人・GH 職員・相談員・訪問看護・B 型職員の参加にて支援会議を開催
12/8	退院後の支援	・本人の不穩により退院が延期され、年内に支援会議を開催し、B 型や訪問看護等のサービス調整をしていく
12/15	親の介護問題	・就労定着支援事業所でのモニタリングにて →本人の今後の不安として、「母の介護」が話に挙がる
12/22	相談支援専門員の資質について	・多職種連携の必要性、各機関の立ち位置・事情・背景への配慮、自身の価値観を押し付けない等を確認
12/28	R5 年の振り返り	・契約者件数（増減）の推移を確認するとともに、困難ケースやヘビーケースへの対応について改めて確認した
1/5	R6 年の事業方針・目標①	・R6 年の事業方針・目標の確認をおこなう →書類の保存及び管理、監査、ミーティング 等について
1/11		業務多忙のため中止
1/19	R6 年の事業方針・目標②	・R6 年の事業方針・目標の確認をおこなう（追加編） →基本情報の更新、BCP の作成 等について
1/26	支援会議振り返り	・相談員、ケアマネ、いきいき C、福祉用具、社協等参加 →現在の生活状況、及び、本人の意向等の確認
2/2	進学支援	・R6.4 月の中学入学を控え、普通級 or 支援級の何れに所属するのかを関係機関で話し合う
2/9	R6 年度報酬改定	・R6 年度障害福祉サービス等報酬改定の確認をおこなう →①概要②主な改定内容③報酬算定構造の要点確認
2/16	兄弟の就労支援	・二人兄弟の就労支援について、母より「兄弟一緒に就労継続 A 型を利用したい」旨の相談があり時期を検討中
2/22	困難ケース	・近況、及び、今後の支援についての確認 →被害妄想・希死念慮ありのため、関係機関との連携強化
3/1	困難ケース	・地域連携会議をおこない、父・母・本人其々の処遇（対応）について検討する（居住面、鳥の対処、自宅の競売 等）
3/8	モニタリング報告	・現在の体調面、生活状況等について確認する →訪問看護の頻度変更済み、自力入浴は問題なし

3/22	困難ケース	・現在は精神科に入院・治療中で、今後は本人・母の意向を確認しながら、退院後の生活に向けて準備を進めていく
3/29	困難ケース	・現在は精神科病院に入院中で、退院後のGH入所へ向けて準備していく（父の身体状況についても確認していく）

③ 外部研修

実施日	テーマ	内容 等
6/10	強度行動障害者支援研修 (基礎研修) ＜メディアス体育館ちた＞	◎強度行動障害の理解 →・支援の基本、障害の状態 ・障害特性の理解 ・行動を見る視点
6/18	強度行動障害者支援研修 (基礎研修) ＜メディアス体育館ちた＞	◎強度行動障害の理解 →・支援のアイデア ・行動障害と虐待防止 ・チームプレイの必要性 ・支援手順書に基づく支援
8/28	強度行動障害者養成研修 (実践研修) ＜吹上ホール＞	◎基礎研修の学びを振り返る ◎支援組み立ての基本的な流れを把握する ◎実践研修の進め方と演習の構成を確認する
8/29	強度行動障害者養成研修 (実践研修) ＜吹上ホール＞	◎手順書の作成 →・アセスメントに基づく支援手順書の作成 ・障害特性に合わせた支援手順書の作成

サービス品質の向上を目指した取り組み

名東福社会は、提供するサービスの品質管理を法人全体でおこないたいと考えています。法人・事業所の特色を活かしながら、利用者に満足していただけるサービスの提供を目指していきます。

そのためにも、人材育成やサービス改善の仕組みは必須です。

1. 委員会

【虐待防止・身体拘束適正化委員会】

(1) 目的

名東福祉会が運営する障害福祉サービス事業等において、利用者の尊厳・人権を守り虐待を防止するために適切な措置を講ずること、および、利用者の身体拘束等の適正化を推進することを目的とする。

(2) 構成

理事長、担当理事、各事業所管理者・副所長、第三者委員、利用者および家族の代表

(3) 活動報告

実施日	テーマ	内容等	参加人数
7/24	虐待防止マネジメント会議から考える	虐待防止マネジメント会議の報告・新人から5～6年の中堅グループ研修報告それぞれの内容の検討、リーフレットを活用しての当事者との対話	19
2/13	研修アンケート結果から考える虐待防止について	事故状況の確認、ご家族への説明、市の回答、研修およびアンケート内容結果、虐待防止に向けた取り組み	10

(4) 成果等

昨年度第2回目の委員会に続き、今年度第1回目の委員会も当事者が参加し、それぞれが虐待に限定することなく、要望や希望も含めて話す機会を設定することができた。

第2回目の委員会は、個人が特定される内容でもあるため当事者は不参加としたが、第三者委員に事業所における行動障害のある自閉症者への支援の困難さを理解した上で、客観的な立場での発言があり、虐待防止に向けた取り組みへの参考となった。

【給食委員会】

(1) 目的

提供される給食の内容を検討することにより、より安全で、品質の高い食事提供を目指す。

また、委託業者と法人が食事提供に関して共通の目標を持ち、給食メニューの見直しをおこなう。

(2) 構成

法人：本部長、栄養士、事業所支援員各1名

委託業者：エリアマネージャー1名、管理栄養士1名

(3) 活動報告

実施日	テーマ	内容等	参加人数
5/11	食事提供について	アクシデントがあった時の対応について、良かった点、改善・要望点の確認	7
6/8	食事提供について	パンメニューについて、塩分量について、良かった点、改善・要望点の確認	8
7/13	食事提供について	リクエストメニューについて、良かった点、改善・要望点の確認	8
8/10	食事提供について	停電時の対応について、減塩について、良かった点、改善・要望点の確認	7
9/14	食事提供について	汁物の量の変更について、良かった点、改善・要望点の確認	7
10/12	食事提供について	汁物の提供状況について、良かった点、改善・要望点の確認	8
11/9	食事提供について	食器のサイズについて、良かった点、改善・要望点の確認	7
12/14	食事提供について	食材のサイズについて、異物混入について、個別対応について、良かった点、改善・要望点の確認	6
1/11	食事提供について	コロナ感染対応について、乳製品アレルギー対応の変更について、指導監査指示の確認について、良かった点、改善・要望点の確認	6
2/8	食事提供について	個別対応表の見直しについて、平日昼食の汁物の変更について、良かった点、改善・要望点の確認	7
3/14	食事提供について	食数発注締切日の変更について、異物混入について、麦ご飯の頻度について、良かった点、改善・要望点の確認	8

(4) 成果等

各事業所の検食簿に記載された内容を参考に、味付け、食材のバランス、盛り付け等について、委託業者の献立作成の参考となるような話し合いをおこなうことができた。

6月の委員会で話題にして以降、汁物の量・頻度を徐々に調整することにより、塩分量を抑えることができた。

2. 機関誌「WORKS」編集部

法人機関誌「WORKS」を発行。事業の紹介や制度動向、関連領域の話題を通じて、障害福祉サービスのあり方を提言していく。

法人利用者、職員、後援会員、関係団体等に配布・送付している。

No.150 (3月発行)

「レジデンス日進での虐待防止研修の実施とその成果について」

決算報告

社会福祉事業区分資金収支内訳表

(自) 令和 5年 4月 1日 (至) 令和 6年 3月31日

勘定科目		本部	はまなす	上ノ山ホーム	メイトウ・ワークス	天白ワークス	レジデンス日進	合計	内部取引消去	事業区分合計
事業活動による収入	就労支援事業収入		64,866,584	78,169,729	1,221,422	1,489,315	1,053,522	3,764,259	△54,260	3,709,999
	障害福祉サービス等事業収入		300,000	220,000	48,551,006	72,487,196	220,617,383	484,691,898		484,691,898
	経常経費寄附金収入	35,000	300,000	220,000	230,000	522,800	9,465,000	10,772,800		10,772,800
	受取利息配当金収入	2,650					8	2,658		2,658
	その他の収入	857,000	1,073,870	626,264	526,140	1,025,934	1,726,887	5,836,095	△60,140	5,775,955
	事業活動収入計(1)	894,650	66,240,454	79,015,993	50,528,568	75,525,245	232,862,800	505,067,710	△114,400	504,953,310
	人件費支出	592,942	55,988,944	68,054,300	34,377,333	46,134,877	162,183,469	367,301,865		367,301,865
	事業費支出	664,895	5,845,988	11,830,248	5,706,081	6,909,942	34,523,469	65,480,623	△100,140	65,380,483
	事務費支出	1,225,739	5,557,881	8,794,951	5,775,585	6,256,564	27,421,028	55,031,748	△14,260	55,017,488
	就労支援事業支出				1,189,801	1,672,363	1,571,281	4,433,445		4,433,445
その他の支出		959,548	1,108,741	545,617	966,600	3,254,458	6,834,964		6,834,964	
事業活動支出計(2)	2,483,576	68,322,361	89,788,240	47,594,417	61,940,346	228,953,705	499,082,645	△114,400	498,968,245	
施設整備等による収入		△1,588,926	△10,772,247	2,934,151	13,584,899	3,909,095	5,985,065		5,985,065	
施設整備等売却収入	4,100,000							4,100,000		4,100,000
その他の施設整備等による収入				7,800			43,110	43,110		43,110
施設整備等収入計(4)	4,100,000			7,800				7,800		7,800
固定資産取得支出	200,200									
その他の施設整備等による支出		151,800		1,078,000				15,633,445		15,633,445
施設整備等支出計(5)	200,200	151,800		1,078,000				12,470		12,470
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	3,899,800	△151,800		△1,070,200				4,150,910		4,150,910
積立資産取崩収入	190,650	9,974	12,486	7,463	819,353	638,724	1,678,650			1,678,650
その他の活動収入計(7)	190,650	9,974	12,486	7,463	819,353	638,724	1,678,650			1,678,650
積立資産支出	4,100,000	480,327	98,247	276,471				6,922,550		6,922,550
その他の活動による支出										
活動による支出計(8)	4,100,000	480,327	98,247	276,471				6,922,550		6,922,550
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△3,909,350	△470,353	△85,761	△269,008				△5,243,900		△5,243,900
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	△1,598,476	△2,704,060	△12,238,508	1,594,943				△10,753,840		△10,753,840
前期未支払資金残高(11)	11,324,219	66,995,382	△17,616,487	52,622,998	80,095,149	157,114,437	350,535,698	339,781,858		350,535,698
当期末支払資金残高(10)+(11)	9,725,743	64,291,322	△29,854,995	54,217,941	89,196,874	152,204,973	339,781,858	339,781,858		339,781,858

(単位：円)

社会福祉事業区分事業活動内訳表

(自) 令和 5年 4月 1日 (至) 令和 6年 3月 31日

勘定科目		はまなす	上ノ山ホーム	メイトウ・ワークス	天白ワークス	レジデンス日進	合 計	内部取引消去	事業区分合計	
サービス活動増減の部	就労支援事業収益			1,221,422	1,489,315	1,053,522	3,764,259		3,709,999	
	障害福祉サービス等事業収益	64,866,584	78,169,729	48,551,006	72,487,196	220,617,383	484,691,898	△54,260	484,691,898	
	その他の収益	160,800		9,300	109,800	215,850	495,750		495,750	
	経常経費寄附金収益	35,000	220,000	230,000	522,800	9,465,000	10,772,800		10,772,800	
	サービス活動収益計(1)	195,800	78,389,729	50,011,728	74,609,111	231,351,755	499,724,707	△54,260	499,670,447	
	人件費	402,292	68,095,741	34,587,781	45,579,221	163,046,173	368,179,065		368,179,065	
	事業費	664,895	11,830,248	5,706,081	6,909,942	34,523,469	65,480,623	△100,140	65,380,483	
	事務費	1,225,739	8,794,951	5,775,585	6,256,564	27,421,028	55,031,748	△14,260	55,017,488	
	費用	400,703	3,263,728	1,147,891	2,767,598	1,571,281	5,486,770		5,486,770	
	減価償却費			3,729,806	4,108,042	15,183,805	30,099,102		30,099,102	
国庫補助金等特別積立金取崩額		△1,545,246	△1,394,098	△1,332,896	△1,332,896	△8,225,309	△12,797,546	△12,797,546		
その他の費用	160,800		9,300			215,850	385,950		385,950	
サービス活動費用計(2)	2,854,429	91,684,671	49,562,346	64,288,471	233,736,297	511,865,712	511,865,712	△114,400	511,751,312	
サービス活動増減の部	△2,658,629	△13,294,942	449,382	10,320,640	△2,384,542	△12,141,005	△12,141,005	60,140	△12,080,865	
サービス活動外増減の部	受取利息配当金収益	2,650				8	2,658		2,658	
	その他のサービス活動外収益	857,000	626,264	526,140	916,134	1,726,887	5,726,295	△60,140	5,666,155	
	サービス活動外収益計(4)	859,650	626,264	526,140	916,134	1,726,895	5,728,953	△60,140	5,668,813	
	費用		1,108,741	545,617	966,600	3,264,158	6,844,664		6,844,664	
	サービス活動外費用計(5)		1,108,741	545,617	966,600	3,264,158	6,844,664		6,844,664	
	サービス活動増減の部		△482,477	△19,477	△50,466	△50,466	△1,537,263	△1,115,711	△60,140	△1,175,851
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△1,798,979	△13,777,419	429,905	10,270,174	△3,921,805	△13,256,716	△13,256,716	△13,256,716	
	施設整備等寄附金収益	4,100,000					43,110	4,100,000		4,100,000
	固定資産売却益				714,225		43,110	714,225	△714,225	43,110
	拠点区分間固定資産移管収益				714,225		43,110	714,225	△714,225	43,110
特別収益計(8)	4,100,000			714,225		43,110	4,857,335	△714,225	4,143,110	
特別増減の部				2	2	714,225	714,225	△714,225	4	
特別費用計(9)	4,100,000			2	2	714,225	714,225	△714,225	4	
特別増減差額(10)=(8)-(9)						△671,117	4,143,106	△714,225	4,143,106	
繰越活動増減差額(11)=(7)+(10)	2,301,021	△13,777,419	429,905	10,984,297	△4,592,922	△9,113,610	△9,113,610	△9,113,610	△9,113,610	
前期繰越活動増減差額(12)	165,283,202	78,306,297	76,908,676	86,853,356	148,428,748	604,709,561	604,709,561	604,709,561	604,709,561	
当期繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	167,584,223	35,151,863	77,338,581	97,837,753	143,835,826	595,595,951	595,595,951	595,595,951	595,595,951	
基本金取崩額(14)										
その他の積立金取崩額(15)										
その他の積立金積立額(16)	4,100,000						4,100,000		4,100,000	
繰越活動増減差額の部										
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	163,484,223	73,847,705	77,338,581	97,837,753	143,835,826	591,495,951	591,495,951		591,495,951	

(単位：円)

法人単位貸借対照表
令和 6年 3月31日現在

(単位：円)

	資産の部		負債の部		増減	
	当年度末	前年度末	当年度末	前年度末		
流動資産						
現金預金	372,933,498	375,235,409	流動負債	47,320,770	38,265,516	9,055,254
事業未収金	287,456,457	289,529,288	事業未払金	26,315,950	19,683,718	6,632,232
商品・製品	82,226,783	82,887,457	預り金	24,553	25,568	△1,015
仕掛品	697,920	1,360,420	職員預り金	5,680,267	2,806,230	2,874,037
原材料	251,970	624,070	賞与引当金	15,300,000	15,750,000	△450,000
立替金	180,980	199,705	固定負債	39,255,476	38,153,426	1,102,050
前払費用	240,596	104,927	退職給付引当金	39,255,476	38,153,426	1,102,050
	1,848,792	529,542	負債の部合計	86,576,246	76,418,942	10,157,304
仮払金	30,000	30,000	純資産の部			
固定資産	1,107,104,151	1,116,363,092	基本金	351,829,014	351,829,014	
基本財産	891,750,437	909,692,485	基本金	351,829,014	351,829,014	
土地	365,024,864	365,024,864	国庫補助金等特別積立金	304,703,321	317,307,867	△12,604,546
建物	525,725,573	543,667,621	国庫補助金等特別積立金	304,703,321	317,307,867	△12,604,546
定期預金	1,000,000	1,000,000	その他の積立金	145,433,117	141,333,117	4,100,000
その他の固定資産	215,353,714	206,670,607	建設積立金	41,000,000	41,000,000	
建物	11,839,222	7,653,713	人件費積立金	54,499	54,499	
構築物	1,609,175	1,838,736	修繕積立金	65,746,618	65,746,618	
機械及び装置	17	18	施設整備等積立金	38,632,000	34,532,000	4,100,000
車輜運搬具	5,026,766	5,434,014	次期繰越活動増減差額	591,495,951	604,709,561	△13,213,610
器具及び備品	11,777,299	11,758,981	次期繰越活動増減差額	591,495,951	604,709,561	△13,213,610
権利	320,142	410,772	(うち当期活動増減差額)	△9,113,610	△2,105,999	△7,007,611
退職給付引当資産	39,255,476	38,153,426				
建設積立資産	41,000,000	41,000,000				
人件費積立資産	54,499	54,499				
修繕積立資産	65,746,618	65,746,618				
差入保証金	35,000	42,800				
長期前払費用	57,500	45,030				
施設整備等積立資産	38,632,000	34,532,000				
資産の部合計	1,480,037,649	1,491,598,501	純資産の部合計	1,393,461,403	1,415,179,559	△21,718,156
			負債及び純資産の部合計	1,480,037,649	1,491,598,501	△11,560,852

施設・事業所 一覧

社会福祉法人 名東福祉会 (昭和 56 年 8 月 認可)
 法人事務センター 〒470-0124 日進市浅田町上納 58-4
 TEL(052)805-1003 FAX(052)805-1004
 法人ホームページ <https://www.meito.or.jp>



種 別	名 称	住 所	電話番号	FAX 番号	E-mail
生活介護	メイトウ・ワークス	〒465-0055 名古屋市長東区勢子坊 2-1303	(052)702-2864	(052)701-2079	meitoworks@meito.or.jp
生活介護	天白ワークス	〒468-0023 名古屋市天白区御前場町 327	(052)804-5487	(052)804-5416	tenpaku@meito.or.jp
生活介護 相談支援	はまなす	〒465-0054 名古屋市長東区高針台 1-911	(052)704-7551	(052)704-7552	hamanasu@meito.or.jp
施設入所支援 生活介護 短期入所	レジデンス日進	〒470-0124 日進市浅田町上納 58-4	(052)805-1003	(052)805-1004	nissin@meito.or.jp
グループ ホーム	上ノ山ホーム	〒470-0124 日進市浅田町上ノ山 12-1	(052)808-4878	(052)808-4878	